

平成23年

第16回教育委員会会議録

秋田県教育委員会

## 平成23年第16回教育委員会会議録

- 1 期 日 平成23年9月1日 木曜日
- 2 場 所 教育委員会委員室
- 3 開 会 午後2時00分
- 4 閉 会 午後4時33分
- 5 出席委員 北林真知子  
猪股春夫  
田中直美  
長岐和行  
佐藤一成  
米田進
  
- 6 説明のための出席者  
教育長 米田進  
教育次長 白山雅彦  
参事(兼) 高校教育課長 福田世喜  
総務課長 佐々木則夫  
教職員給与課長 船木和紀  
義務教育課長 橋田裕  
生涯学習課長 小川秀昭  
保健体育課長 小野巧  
総合教育センター所長 風登森一  
教育次長 山田芳浩  
施設整備室長 和泉良正  
幼保推進課長 船木文子  
特別支援教育課長 江橋宏栄  
文化財保護室長 佐々木人美  
福利課長 鶴田宣夫
  
- 7 会議に附した議案  
議案第37号 平成23年度施策評価について  
議案第38号 教職員の懲戒処分案について
  
- 8 議決した事項  
議案第37号 平成23年度施策評価について  
議案第38号 教職員の懲戒処分案について
  
- 9 報告事項
  - ・角館地区統合高等学校の基本構想及び整備計画について
  - ・大曲養護学校仙北地区分教室の基本構想について
  - ・第10回記念秋田県特別支援学校総合体育大会について
  - ・平成23年度全国体育大会の成績について
  
- 10 会議の要旨

**【北林委員長】**

ただ今より平成23年第16回教育委員会会議を開催します。

会議録署名員は2番田中委員と4番佐藤委員にお願いいたします。

審議に入る前に、議事の進行についてであります。議案第38号の教職員の懲戒処分案件は、その他全ての案件終了後に行うこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【全委員】**

異議なし。

**【北林委員長】**

それではそのように進行いたします。

はじめに、議案第37号「平成23年度施策評価について」総務課長から説明をお願いします。

**【総務課長】**

議案第37号「平成23年度施策評価について」説明

**【北林委員長】**

議案第37号について説明していただきましたが、質疑等ございませんか。

**【田中委員】**

幼保一体の教育・保育の充実における、相互職場体験の実施市町村数について、具体的にどの市町村でどのような事業をどの程度行っているかといったデータはありますか。

**【幼保推進課長】**

具体的なデータは持ち合わせておりませんが、相互職場体験を推進するため幼保小連携理解促進事業を当初は県単独で行っており、その取組が浸透し、現段階では市町村でも独自の取組として実施し、全ての市町村でそれに類した取組が行われています。

**【田中委員】**

この取組については既に目標を達成しているため、来年度目標を変えること等は検討されていませんか。

**【幼保推進課長】**

ご指摘のとおり、現段階では全ての市町村で実施されておりますので、今後は質の向上を目指した取組を実施してまいります。

**【田中委員】**

そうであるならば、質の向上が目に見えるような指標へ変更するべきと思いますが、いかがでしょうか。

**【幼保推進課長】**

目標数値の中には、向上させるべき指標もあれば、100%を維持していくべき指標もありま

す。この指標については、全市町村が相互職場体験を実施する状態を維持しながら、質の向上にも取り組んでいくことが必要と認識しております。

**【北林委員長】**

現在の指標は「実施市町村数」であるため、市町村内で一カ所でも相互職場体験を行ってれば、他で実施していなくても目標が達成されたことになってしまいます。

質の問題に加えて、より精緻に取組の広がりを確認できる指標へ改善していくことも検討されてはいかがでしょうか。

**【幼保推進課長】**

ただいまご指摘のあった点を踏まえながら、政策指標の改善に取り組んで参ります。

**【佐藤委員】**

幼保一体の教育・保育の充実に関して、モデル地区においては肥満傾向児の増加を抑えることが出来たと説明がありましたが、この取組は今後全県に広げていくのでしょうか。

**【幼保推進課長】**

本県の課題である肥満傾向児の出現率を低下させるため、前年度の分析を踏まえ、全県に取組を広げてまいります。

**【佐藤委員】**

現段階での課題は何であると分析していますか。

**【幼保推進課長】**

食事に関しては、地域によって考え方に差があります。例えば、給食を提供していてもご飯だけは家庭から持ってきていただく形式の園もあるのですが、中にはご飯の量がオーバーカロリーになっている家庭が多く見られる地域もあります。

外遊びについては、保育所でどのように運動時間を確保するのが課題です。

また、生活習慣に関しては、就寝が遅い家庭が増えていることから、正しい生活習慣をどのように身につけさせるかが課題と認識しております。

**【猪股委員】**

学校教育の充実の「学校における食育の推進」ですが、農業が盛んな秋田において自給率が30%台であることに疑問を感じます。

**【保健体育課長】**

はじめに、この施策評価で使用している指標は、主要15品目の野菜について、重量ベースで計算した指標であり、米、牛乳及び肉類は除外されております。米、牛乳は県内産で100%、肉類も60%程度であるため、そのあたりを加味すれば必ずしも地場産物の活用が進んでいない訳ではありません。

主要15品目の活用率については、学校の需要に対し、出荷の時期が合わないなどの課題もありますが、活用率が高い地域は各地区の食材提供グループとの連携がうまくいっております。

活用率が低い市町村については、その課題等を分析しながらさらなる活用率の向上に向けて取り組んでまいります。

**【猪股委員】**

米や牛乳が含まれていないために、30%という自給率になっているのならば、米や牛乳を含めてカロリーベースの自給率としてまとめることで、実態に即した指標となると思いますが、いかがですか。

**【保健体育課長】**

主要15品目全体の活用率だけではなく、品目ごとの活用率を示すなどしてより実態を捉えられるように改善したいと思います。

**【北林委員長】**

地場産物の活用に関して、市町村ごとの温度差はありますか。

**【保健体育課長】**

もちろんあります。

**【北林委員長】**

給食に使用する野菜については規格が厳しいため、地場産物の活用率が進まないといった話も聞きますが、作業機械の更新や出荷時の工夫によって、活用率は向上させることが出来ると思います。

**【保健体育課長】**

現状では1名の学校栄養職員で200人の生徒の給食を2時間で作っているため、効率的に作業することが求められますが、道具の更新等によって改善する部分もあろうかと思っておりますので、努力してまいります。

**【佐藤委員】**

医学部進学者のうち、メディカルキャンプセミナーに参加した人の割合はどの程度でしょうか。病院関係者は生徒が見学しにくることを歓迎しておりますので、セミナーの効果を示すデータがあれば、より活用が進むと思います。

**【参事(兼)高校教育課長】**

詳細なデータはとっておりませんが、経験的にはセミナー参加者から合格者が出ていと捉えております。

**【田中委員】**

「校種間を貫くキャリア教育の推進」に関する意見ですが、私の娘は今年中学校1年生になったのですが、早くもどういった高校に進みたいか、どういった大学に進みたいのか、将来の職業は何になりたいのかといったアンケートが実施されております。どんな職業を希望するかや、どの大学に進学するかの前に、世の中はいろんな仕事で成り立っていて、その中の一員として働い

ていくということを学ぶべきであると思うのですが、そういった考え方が各学校に浸透していないような気がします。

**【北林委員長】**

学校訪問をすると、校長の中にもキャリア教育と職業教育の区別が出来ていない方がいらっしゃるように感じます。キャリア教育は、国語や社会や算数など、それぞれの教科に内包されているキャリア教育的要素に光をあて、社会人として生き抜く力を育てるものであり、就職できればそれで済みではありません。むしろ、学校のキャリア教育で学んだことを活かしながら、一生つきあっていくべきものだと思うのですが、そのことが現場の先生に理解されていないように思います。特に進学校においては、大学進学に偏重しており、キャリア教育が真剣に捉えられていないように思います。

東日本大震災をうけて、我々のこれまでの施策を問い直されておりますが、壊滅的な打撃を受けているところから再び新しいものを構築していく力については、まさにキャリア教育が担っているものと感じています。

キャリア教育については、今後ますます力を入れていくべき分野なので、研修のあり方を工夫するとともに教員評価の指標とすることも検討しながら、徹底させていく必要があると思います。

**【義務教育課長】**

キャリア教育の課題については、委員長ご指摘のとおり、職業観・勤労観の育成に重点が置かれるあまり、社会的・職業的自立を促す資質能力の育成が弱くなってしまうことにあります。

10月31日にキャリア教育推進フォーラムが実施されますが、そういった機会を捉えながら情報発信に努めてまいります。

**【北林委員長】**

生涯学習の推進に関連し、昨年度の「美の国カレッジ」や「県庁出前講座」の受講者数が前年度比で15,000人増加したと説明がありましたが、これはどういった理由によるものでしょうか。

**【生涯学習課長】**

講座のコマ数を増やしたほか、他機関との連携を推進し、県庁出前講座を活用するなど、相対的に取り組んだ成果です。

**【北林委員長】**

昨年よりも学習機会の質と量が増えたということですね。

**【生涯学習課長】**

これまでは生涯学習センターでのみ行っていた講座を、様々な場所で開催することで、講座の魅力を知っていただけたと思っています。

**【北林委員長】**

取組の工夫によって受講者を増やすことが出来ることを実証したものであり、大変喜んでおります。さらに良いと思うのが、学びの成果を還元する取組を行っていることです。

中高年は学びの意欲が高いので、学びを自己満足で終わらせるだけではなく、その成果を社会的活動につなげることが重要だと感じています。

**【生涯学習課長】**

受講者の中にも学んだ成果を次に伝えたいという思いはあると思うので、マイスター講座等を活用し、学んだ成果を次に伝える技術を育成するという観点からも取り組んでまいりたいと考えています。

**【北林委員長】**

その他特になければ、表決を採ってよろしいでしょうか。

**【全委員】**

異議なし。

**【北林委員長】**

それでは、表決を採ります。議案第37号を原案どおり可決することよろしいでしょうか。

**【全委員】**

異議なし。

**【北林委員長】**

では、議案第37号を原案どおり可決します。

次に、報告事項に入ります。一括説明していただいてから質疑等いただきます。

角館地区統合高等学校の基本構想及び整備計画について高校教育課長から説明をお願いします。

**【参事(兼)高校教育課長】**

「角館地区統合高等学校の基本構想について」説明

**【北林委員長】**

次に、大曲養護学校仙北地区分教室の基本構想について及び第10回記念秋田県特別支援学校総合体育大会について特別支援教育課長から説明をお願いします。

**【特別支援教育課長】**

「大曲養護学校仙北地区分教室の基本構想について」

「第10回記念秋田県特別支援学校総合体育大会について」説明

**【北林委員長】**

次に平成23年度全国体育大会の成績について保健体育課長から説明をお願いします。

**【保健体育課長】**

「平成23年度全国体育大会の成績について」説明

**【北林委員長】**

報告事項を一括して説明していただきましたが、質疑等ございませんか。

**【長岐委員】**

角館地区統合校について、新築ではなくスーパーリニューアルといった手法をとるのはなぜでしょうか。

**【施設整備室長】**

現在の建築基準法は昭和56年に改正されており、耐震基準などはそれに沿った建築を行っておりますが、その前は昭和46年に改正されております。今ある資源を有効に活用するという観点から、昭和46年以降に建てられた学校施設については原則改築で対応する方針です。角館高校については昭和47年に建築されていることから、スーパーリニューアルで対応しようとするものです。

**【長岐委員】**

予算上のメリットもあるということでしょうか。

**【施設整備室長】**

そういった面もあります。

**【長岐委員】**

特別支援学校分教室を仙北地区に設置するのは良いことだと思いますが、教職員の配置はどうか。

**【特別支援教育課長】**

分教室に教頭1名と児童生徒に応じた教職員を配置することとしております。全体で見ると微増する見込みです。

**【長岐委員】**

人員はしっかりと配置できるのですね。

**【特別支援教育課長】**

児童生徒数に応じた教職員は確保できる見込みです。

**【田中委員】**

それに関連して、特別支援学校の生徒は平成25年度に角館南高校に入るのですか。

**【特別支援教育課長】**

新校舎に入るのは平成28年度からで、25年度から27年度は仙北市内の児童館を活用します。



**【田中委員】**

施設の改修は必要ですか。

**【特別支援教育課長】**

若干の改修は必要となります。

**【猪股委員】**

角館高校の定時制は全日制と校舎が異なりますが、定時制と全日制の交流を進める必要があると思います。

**【参事(兼)高校教育課長】**

ただいまのご指摘を踏まえ、お互いの学びあいという教育的効果を含めて検討してまいります。

**【佐藤委員】**

角館地区統合校は第2外国語を学べるようですが、全県的に英語以外の外国語が学べる高校はどの程度あるのでしょうか。

**【参事(兼)高校教育課長】**

現段階では、横手清陵学院高校がハングル、由利高校で中国語、御所野学院高校でハングル及び中国語が学べます。

また、平成25年度からスタートする能代地区の統合校では、生徒の希望により3カ国語を学べる体制とする予定です。

**【佐藤委員】**

履修レベルとしてはどの程度になり、講師はどのような方を活用する予定ですか。

**【参事(兼)高校教育課長】**

全員が履修するのは入門程度となります。講師はネイティブとなる予定です。

**【佐藤委員】**

大曲養護の分教室設置によって通学時間はどの程度短くなる予定ですか。

**【特別支援教育課長】**

西木や田沢湖からいらっしゃっているお子さんと、これまでの3分の1程度になると見込んでます。

**【北林委員長】**

その他特になければ、次に議案第38号についてですが、人事案件であることから秘密会としたいと思いますが、いかがでしょうか。

**【全委員】**

異議なし。

**【北林委員長】**

異議がないので、秋田県教育委員会会議規則第28条により秘密会とします。  
傍聴の方は、しばらくの間、退室願います。

(傍聴人退室、議案書配付)

秘密会のまま終了。